

第13回

皇室と茶の湯

講師 依田 徹氏 (遠山記念館学芸課長)

寛永11(1634)年11月21日、後水尾上皇の住む京都仙洞御所において、茶会が催されました(『鹿苑日録』)。天正13(1585)年の秀吉による禁裏茶会、寛永3年の二条城行幸を経て、茶の湯は公家文化に入り込み、やがて宮中行事に組み込まれていきます。平安時代初頭の嵯峨天皇からの皇室と茶の湯の歴史を踏まえ、公家にとって茶とはどのようなものだったのかを考えます。

寛永
行幸

寛永文化講座



依田 徹氏 (遠山記念館学芸課長)

1977年、山梨県生まれ。遠山記念館学芸課長。東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程修了。博士(美術)。専門は日本近代美術史、茶道史を専門とし、著書に『盆栽の誕生』(大修館書店、2014年)、『皇室と茶の湯』(淡交社、2019年)などがある。

2026年 8月2日(日)

14:00(開場13:15、終了予定15:30)

参加費: 無 料

会場: ANAクラウンプラザホテル京都
京都市中京区堀川通二条城前 (「二条城前」駅2番出口より徒歩約1分)

定員: 300名程度(事前申込制)

申し込み先: Peatix 申し込みは、6月27日(土)午前10時より

<本イベントに関するお問い合わせ> 実行委員会事務局(京都府文化政策室)
info@kaneigyoko400.jp TEL.075-414-5140(土日祝除く 10:00~17:00)

お申し込みは
こちら



寛永文化講座とは?

2026年は、寛永3(1626)年に後水尾天皇が二条城に行幸されてから400年の節目の年です。寛永時代は能、狂言、茶の湯といった文化が隆盛し、市中にいくつもの“サロン”が形成されました。このサロンを舞台に文化が洗練され、多くの人々をひきつけ、現代へとつながることから「寛永は文化の故郷」といわれています。「寛永文化講座」は、この時代に花開いた文化の特質をさまざまなジャンルの専門家に語っていただき、多角的な視点から寛永文化の総合性や現代における意義を考えていこうというものです。

「寛永行幸四百年祭」を応援したい!

実行委員会では、寄付などを募集しています。皆さんも歴史に参加しませんか。

詳細はこちら

基金で応援

京都文化交流コンベンションビューロー
「寛永1626基金」で
寄付を募集しています。

ふるさと納税で応援

京都府の
企業版ふるさと納税による
寄付を募集しています。

連携・関連事業で参加

「寛永」をテーマにした独自事業や関連行事を
実施していただける企業・団体を募集しています。
お問合せ: info@kaneigyoko400.jp



茶碗:《色絵金銀菱文重茶碗》野々村仁清 江戸時代 重要文化財 MOA美術館蔵 絵:《二条城行幸図屏風》部分 江戸時代 京都市指定文化財 泉屋博古館蔵

主催 寛永行幸四百年祭実行委員会
https://kaneigyoko400.jp/

共催 一般社団法人Living History KYOTO

協力 ANAクラウンプラザホテル京都

最新情報は
公式HP・SNSで
チェック!



公式HP



FACEBOOK



Instagram



X